

3月定例会

提出議案の主な内容

平成20年3月定例会は、2月21日に開会され、議案34件及び発議案5件が提出され審議されました。

提案説明

◆平成20年度市政運営方針

▶市長提案説明



都市基盤整備は、平成16年に八街駅自由通路新設並びに駅舎橋上化整備事業により、八街駅の北口が開設したことや八街駅北側地区土地区画整理事業による道路や公園または駐輪場の整備など、中心市街地整備は着実に進展してきました。今後、事業の早期完成を目指すとともに八街駅の南側と北側が一体となった「八街市の顔」としてふさわしい街づくりを進めます。なお、榎戸駅周辺整備は、駅前トイレの設置やホームの上屋整備等を実施しましたが、今後は、駅東口の開設と、現在、佐倉発の快速電車を成東発に改善するよう引き続きJRに働きかけるなど、通勤通学者の利便性の向上に努力します。

市民の安全を守るため、佐倉警察署八街幹部交番の移転は、八街市中央公民館前において、現在工事中であり、新年度の早い時期から業務が開始される予定で

◆新幹部交番

す。今後は、駅北側に駅前交番用地を確保してありますので、駅前交番の早期設置に努力します。また、毎年、防犯灯を約150基ずつ設置してきましたが、このほかにも平成16年度からは、高圧ナトリウム灯を毎年30基ずつ設置してきました。平成19年度工事で市内4中学校区すべてに設置しましたが、今後は、さらに各地区の増設を実施し、犯罪の予防と明るい通学路の整備を進めたいと考えています。

道路整備事業は、現在進めている八街バイパス事業を引き続き推進し、国道409号から主要地方道千葉・八街・横芝線までの平成23年度からの供用開始を



目指します。また、現在工事を進めている市道文違1号線、富山十字路から主要地方道成東・酒々井線までの平成21年度完成を目指します。

子育て支援の一環として、児童クラブの設置を行っているのですが、昨年、6月、笹引小学校内に開設して、各小学校区に1か所の児童クラブが開設できました。今後、子育て支援の充実を図るため、今年度は、沖分校内に6月の開設を目指したいと考えています。また、妊婦の健康診査事業の充実を図るため、本年4月から妊婦の周期数に見合った健康診査費用5回分を助成したいと考えています。

市民サービスの一環として、納税者への身近な納付場所の提供や納付の利便性向上を図るため、平成21年度からの市税等のコンビニ収納導入に向け、収納管理システムを改修するとともに、引き続き行財政改革に積極的に取り組むたいと考えています。

◆八街市特別職の職員等の

条例

◆八街市特別職の職員等の

給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定
特別職（市長、副市長、教育長）の給与の減額措置が本年3月31日で終了することから、市の財政状況等を考慮し、給与の減額措置（月額3万5千円→2万6千円）を平成22年度まで延長するものです。

◆八街市一般職の職員の管理職手当等の特例に関する条例の制定
市の財政状況等を考慮し、管理職手当等の減額措置を平成20年度まで延長するもので、管理職手当は20%を減額し、地域手当は5%から3%に引き下げるものです。

◆八街市児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
沖児童クラブを新たに設置するもので、二州小学校沖分校の校舎内に、30人の定員で本年6月1日に開設するものです。

条例

◆八街市安全で安心なまちづくり条例の制定
市民生活の安全を確保し、安心して暮らせる生活

空間を維持するためには、警察の取締まり強化に加え、市民一人ひとりが防犯意識を持ち、自立と相互扶助による良好な地域社会を形成することが重要です。防犯についての基本理念を定め、市民、自治会、事業者などとの連携を図り、協働して犯罪の起こりにくい環境づくりに取り組むため、新たに条例を制定するものです。

◆青少年健全育成都市宣言
今日、少子化の進行、夜型生活の日常化、インターネット等の普及による情報化社会の進展、地域社会での連帯感の希薄化、家庭における教育など、青少年を取り巻く生活環境は大きく変化し、青少年の健全な育成が求められております。次代を担う青少年が、自己の役割や存在感を自覚し、創造性豊かで未来に希望を持ち、「ヒューマンフィードバック」を実現する中核的人材となるよう、市民一体となり、組織的に青少年の健全な育成に取り組むことが必要と考え、本市を「青少年健全育成都市」とすることを宣言するものです。